

日本古音楽集団 第二十三回定期演奏会

一、序の曲 三禾稔 作曲

二、邦楽器のためのコンチェルタンテ 改訂初演 仲俣申喜男 作曲

三、板碑のうた 尺八と弦楽合奏による 初演 長沢勝俊 作曲 宮田耕八朗 尺八独奏

四、古代舞曲によるパラフレーズ 三禾稔 作曲

演奏 日本音楽集団
客演 ソプラノ・増田睦実 東京ゾリスアン

指揮 田村拓男

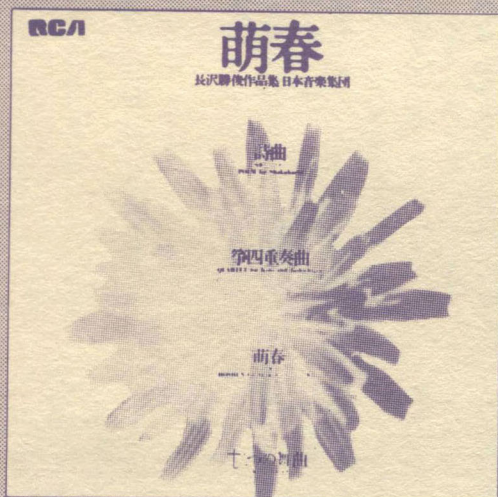
企画・構成 坂田誠山

都市センターホール 一九七五年二月十八日（火）七時開演

自由闊達さ、滑らかな音楽性、表現の細やかさ、西洋的な技法の賦与といった表現能力を獲得した。

萌春

～長沢勝俊作品集
日本音楽集団



①詩曲(尺八独奏曲)

宮田耕八郎(尺八)

②萌春(箏と尺八)

坂田誠三(尺八) 白根きぬ子(箏)

③箏四重奏曲

白根きぬ子、坂井とし子、野坂恵子、宮本幸子(箏)

④二つの舞曲(合奏)

日本音楽集団

●JRZ-2558 ¥2,200



人形風土記/子供のための組曲

長沢勝俊

組曲「人形風土記」

(1)ニボボ (2)こけし (3)のらまん形 (4)流しびな (5)きじうま (6)木うそ

子供のための組曲

演奏/日本音楽集団

●JRZ-2523 ¥2,200

響 — 和楽器による現代日本の音楽

日本の楽器



四重奏曲(日本楽器のための)[清瀬]/六重奏曲(伊藤)/四重奏曲第1番(和楽器のための)[小山]/三つのエスキス[清水]/四面の箏のための音楽[間宮]/尺八と箏の協奏的三重奏[人野]/箏のための組曲[石桁]/しからみ第2[八村]/エクリプス[武満]/対話五題[諸井]/二つの尺八のための「アキ」[広瀬]/組曲「人形風土記」[長沢]/太掉協奏曲[牧野]

●JRZ-2505-08 4枚組 ¥8,800



〔弦楽器〕

一箏(琴)[4種]/三弦[3種]/胡弓/琵琶[3種]

〔管楽器〕一尺八/篠笛/能管/笙/篳篥/竜笛

〔打楽器〕一太鼓/締太鼓/太鼓/小鼓/楽太鼓/鉦鼓/かっこ/大拍子/樋胴/木鐘/びんざさら/鈴/チャップパ/当り鉦

一合奏例「祭りばやし」/「松竹梅/他全5曲

監修:三木 稔/長沢勝俊

演奏/日本音楽集団 ナレーター/立川清澄

●JRZ-2520-21 2枚組 ¥4,400

RCA Records and Tapes

発売元/ビクター音楽産業株式会社

一、序の曲 三木 稔作曲

JO-NO-KYOKU prelude for Shakuhachi, Koto, Sengen and Strings
Minoru MIKI

〔尺八〕坂田誠山〔二十絃箏〕野坂恵子〔太棹三絃〕坂井とし子

〔弦楽合奏〕東京ゾリスデン

〔指揮〕田村拓男

透明な持続音で象徴される弦楽器群(4・3・2・2・1編成)と、個々の音の周囲に微細な変化音を含む代表的な日本楽器(尺八・二十絃箏・太棹三絃)との接点を探るといふ意図で書かれている。

(一九六九年第十回定期演奏会の初演のプログラムより三木稔)

この作品は集団の第一回定期演奏会(一九六四年)のために書かれた「弦と日本楽器のための協奏曲」を改訂、再演するつもりで、遂には「一音符も利用することなく」新しく書き変えられ、題名も改めて、第十回定期演奏会で初演された。芸術祭大賞を得た「日本音楽集団による三木稔の音楽」のレコードでも冒頭を飾った「序の曲」は文字通り作曲者の「序」を意味するようになったといえよう。

つまり三木稔の、集団と共に歩んだ現代邦楽活動の大きな記念碑である二十絃箏の初登場がこの序の曲の初演のステージであり、ちょうど序の曲が生まれ変わったその時一九六九年の秋に二十絃箏の独奏のための第一作「天如」の作曲も最終段階に入っていたという。そして五年後の昨年春には、二十絃箏とオーケストラのための協奏曲「破の曲」が生まれ、三木稔の作曲活動も「破」の章に入ったのを意味することを自ら示している。

なお、「序の曲」は今回で九回目の演奏回数を数える。(霜島素子)

二、邦楽器のためのコンチェルトンテ 仲俣申喜男作曲

Concertante pour instruments traditionnels du Japon
Nobukio NAKAMATA

〔篠笛・能管〕望月太八〔第一尺八〕坂田誠山〔第二尺八〕福田輝久〔第三尺八〕三橋保源〔細棹三絃〕杉浦弘和〔太棹三絃〕坂井と

し子〔筑前琵琶〕山田美喜子〔薩摩琵琶〕半田綾子〔箏〕吉村七重〔二十絃箏〕池上早苗〔十七絃〕宮本幸子〔打楽器〕尾崎太一・堅田啓輝・高橋明邦・石丸恭一・荒瀬順子・佐藤迪

〔指揮〕田村拓男

この曲では、邦楽器のもつ独奏性と「合奏」とを止揚する方法として、一人の奏者の発する音が、次の奏者の音を誘い出し、そして更に波及する、即ち個々の奏者の内的リズムの応じ合い、ぶつかり合いが全体の動的リズムを生み出すという構造をとっている。動的な旋律、和声もまた同様にして形づくられる……。

曲は鐸音をもって始まり鐸音をもって終る。

自然——人間をも包摂する自然の語りかける声に虚心に聴き入ること——がこの曲の発想の根源となった。(初演のプログラムより)全体は二つの部分によって構成されていて、第一部では主としてリズムに、第二部では主として旋律的に(協奏)が行われる。

一九七二年集団の委嘱により作曲、初演は同年六月の第十六回定期演奏会。今回の再演にあたって全体に手を加えた。(仲俣申喜男)

三、^{たひ}板碑のうた——尺八と弦楽合奏による 長沢勝俊作曲

ITABI-NO-UTA for Shakuhachi and strings
Katsutoshi NAGASAWA

〔尺八独奏〕宮田耕八朗〔弦楽合奏〕東京ゾリスデン

〔指揮〕田村拓男

レクイエムです。 ささやかなレクイエムです。

壮烈に生き、壮烈に死んでいった人々の魂をたたえ、なぐさめる曲でなく、ひっそりと生き、ひっそりと死んでいった人々に捧げるささやかなレクイエムです。

その苦しみと悲しみ、そして怒り。とうてい生きている私のよく表現しうるものではないでしょう。

しかし「死ぬことは苦しい。生きぬことも苦しい。けれど生きていてよかった」(亀井文夫氏のことばより)と思い現代に生きている私にとって、一度は書きたい、と思いつづけてきた曲です。(長沢勝俊)

四、古代舞曲によるバラフレーズ 三木稔作曲

PARAPHRASE after Japanese ancient music

Minoru MIKI

〔能管・篠笛〕望月太八・鯉沼広行・松沢綾子〔高音尺八〕宮田耕八朗・福田輝久・新井尚・藤崎重康〔低音尺八〕坂田誠山・三橋保源・田嶋直士〔三絃〕杉浦弘和・野口美恵子〔琵琶〕山田美喜子・半田綾子〔第一箏〕野坂恵子・花房はるえ・田原順子・小室圭子〔第二箏〕坂井とし子・吉村七重・飯吉圭子〔十七絃〕宮本幸子・湯浅麻美子・池上早苗・中西仁子〔打楽器〕尾崎太一・藤舎成敏・堅田啓輝・高橋明邦〔ソプラノ〕増田睦実

〔指揮〕田村拓男

(1) 前奏曲 Prelude

儀式的なものを感じさせる荘厳な響きを持った導入で、すべてのフレーズは暗示的に進む。

(2) 相聞 Sohonon

やさしく大らかな、万葉の恋のうた。ヴォーカリーズに、笛、尺八、琵琶、三絃、箏群が呼応し、からみ合いながらうたわれる。

(3) 田舞 Tanomai

田舞は田楽や能楽の源ともなったもので、田植のときに豊作を願って踊られる舞い。三絃と篠笛以外の奏者は色々な打楽器を持ってにぎやかに打ち囃す。

(4) 誄歌 Rujika

死者をとむらい、生前の徳をたたえる葬祭のうた。重々しい低音尺八の流れと、それからむもう一管の尺八と箏群のひびきが動哭となって地の底からつき上がる。

(5) 囃歌 Kagai

囃歌は男女が集まって互いに歌を詠みかわして、舞い遊んだことをいう。古代の人々の若々しい青春がエクスタティックに謳歌される。

伝統的といわれるものや、長い間守りみがきぬかれてきたものは先人たちの魂がこもっていて尊く美しい。しかし、しばしばその前に我々は身を固くして歩みを止めてしまうことがあるのに気づかね

ばならない。邦楽もその例外ではない。

この曲は様々な我々を縛っているものを解き放って、古代人のナイーブさ、猛々しさに憧れ、その中に音楽の価値をみつけ直そうという原点回帰の願いをこめて作られている。

今回の演奏でバラフレーズは公式演奏では五十八回目です。(ちなみに昨年末の東南アジア演奏旅行中に、『三木稔の恋する地』バリ島では五十回を迎えた) また今日のステージでは集団の総メンパーの大編成で演奏されます。これは、ステージ回数もふえ演奏も円熟してきている一方で、それを打ち破ろうという試みでもありません。(霜島素子)

東京ソリストスのプロフィール

「東京ソリストス」は一九六三年に組織された。「東京ソリストス」とは「東京のソリスト達」の意味をもち、東京周辺在住の弦の第一線級の名手をよりすぐって結成されたアンサンブルである。コンサートマスターは岸辺百々雄、メンバーには小林道夫、馬場省一、雨田光弘など著名な演奏家が多い。

第四回の定期演奏会をはじめとして、毎月行われるサロンコンサート、地方公演などその活動分野は極めて広く、豊かな伝統にはぐくまれたヨーロッパの音楽を現代の感覚のうちに生かした美しい室内楽を幅広い層へ普及することを目的とし、情熱をもった独自の活動を続けている演奏団体である。

日本音楽集団とは「序の曲」の初演、レコード録音などで共演している。

二つの海外公演について

一九七四年東南アジア公演（国際交流基金主催）

集団は、昨年末、御諏訪太鼓と共に東南アジアへ三週間余りの演奏旅行を行いました。日程と演奏曲目は次のとおりです。この公演に関する記事は昨年十二月二十四日の朝日新聞夕刊、雑誌「邦楽の友」三月号、「エチュード」四月号に載っておりますのでご覧下さい。又、詳しくは次の定期演奏会でご報告する予定です。

演奏日程

十一月二十七日～二十九日／ジャカルタ 十二月二、三日／デンバサル（バリ島） 七日～十一日／サイゴン 十一日～十六日／マニラ 以上、演奏会、放送、テレビ録画など計十六回の公演。

演奏曲目

大編成曲

長沢勝俊作曲「子供のための組曲」、「二つの舞曲」

三木 稔作曲「古代舞曲によるバラフレーズ」、「凸」

小編成曲及び独奏曲

雛子「獅子」、「幕間三重」（三絃・杉浦弘和）、「崩れ」（琵琶

半田綾子）、「鶴の巢籠り」（尺八・宮田耕八朗）、「鹿の遠音」

（尺八・宮田耕八朗、坂田誠山）、長沢勝俊作曲「のろま人形」（太

棹・坂井とし子他）、三木稔作曲「天如」（二十絃箏・野坂恵子）

「芽生え」（同上）、牧野由多可作曲「風」（十七絃箏・宮本幸子）

一九七五年オーストラリア・ニュージーランド公演（文化庁助成）

なお、今月の末から三月にかけては、夏のオーストラリア、ニュージーランドへ次のとおり演奏旅行いたします。

演奏日程

オーストラリアー二月二十六日／パース（パース祭） 三月二日

／アデレード 三日／シドニー 四日／キャンベラ（オーストラリア祭）

六日／メルボルン（ムーニンバ祭） 七日／ホバート

ニュージーランドー十日／ウェリントン 十一日／オークランド

演奏曲目

大編成曲

長沢勝俊作曲 組曲「人形風土記」より、「二つの舞曲」

三木 稔作曲「古代舞曲によるバラフレーズ」、「凸」
小編成曲及び独奏曲

「屋台」、「獅子」、「琵琶古典の手法より」（琵琶・山田美喜子）、「崩れ」（琵琶・半田綾子）、「四季の曲」（箏・坂井とし子、ソプラノ・増田睦実）、「鶴の巢籠り」（尺八・宮田耕八朗）、長沢勝俊作曲「萌春」（尺八・坂田誠山、箏・宮本幸子）、三木稔作曲「奔手」（三絃・杉浦弘和）、「天如」（二十絃箏・野坂恵子）

五月までの集団の主な予定

二月二十六日～三月十四日 オーストラリア・ニュージーランド公演

三月十九日（水） 名古屋演奏会（名古屋音楽短期大学主催）

四月六日（日） 東京荒川青少年少女合唱隊二十回目の定期演奏会

三木稔の音楽をたずねて

都市センター・ホール 午後二時

曲目・阿波の子タヌキ譚、三つの阿波のわらべ歌、子供のための音楽劇「ききみみ」、小品集

（全曲に集団が出演します。入場券ご希望の方は集団事務局へお問い合わせ下さい）

五月二十九日（木） 日本音楽集団第二十四回定期演奏会

都市センター・ホール 午後七時

曲目 柴田南雄委嘱作品、打楽器陣総出演による打楽器オー

ンパレード作品ほか。（企画・構成 尾崎太一）

七月八日（火） 宮田耕八朗尺八リサイタル 朝日生命ホール

午後六時半

八月六日（水）～十二日（火）

第五回夏期合奏研究会 北軽井沢ミュージックホール

日本音楽集団連名

△団員▽

望月 太八(能管・篠笛)

宮田耕八朗(尺八・竜笛・篠笛)

坂田 誠山(尺八)

三橋 保源(尺八)

杉浦 弘和(三絃)

野口美恵子(三絃)

山田美喜子(筑前琵琶)

半田 綾子(薩摩琵琶)

田原 順子(筑前琵琶)

白根きぬ子(箏) 在米中

坂井とし子(箏・三絃)

野坂 恵子(箏・二十絃箏)

砂崎 知子(箏・三絃)

吉村 七重(箏・二十絃箏)

池上 早苗(箏・二十絃箏)

宮本 幸子(十七絃箏)

湯浅麻美子(十七絃箏)

尾崎 太一(打楽器)

藤舎 成敏(打楽器)

堅田 啓輝(打楽器)

高橋 明邦(打楽器)

田村 拓男(指揮・打楽器)

長沢 勝俊(作曲・演出)

三木 稔(作曲・演出)

霜島 素子(文芸・演出)

△研究団員▽

福田 輝久(尺八)

花房はるえ(箏)

小幡 亨(打楽器)

松沢 綾子(笛)

田嶋 直士(尺八)

新井 尚(尺八)

藤崎 重康(尺八)

浦田久美子(三絃)

畦地 慶司(胡弓ほか)

小室 圭子(箏)

中西 仁子(箏・十七絃箏)

飯吉 圭子(箏)

第四期研究団員募集中!!

日本音楽集団では、現代の日本音楽の演奏、作曲及び理論の専門指導者を目指す人たちのため、研究団員を今年も募集しています。

左記の要領をご参照の上、ご応募下さい。

記

- 専攻科目と募集人員——横笛各種、尺八、三絃、琵琶、箏、十七絃、打楽器、指揮、作曲、理論 各々若干名
- 応募資格——高卒以上の学力、及び専門家を目指す音楽能力を有する者、年齢は原則として二十五歳まで
- 研究年限——二年(希望する者には更に二年間の在籍も可能)
- 応募締切——三月十日(月)
- 申し込み手続き——所定の申し込み用紙に必要事項記入のうえ(写真貼付)お申し込み下さい。
- オーディション——三月二十日(木)

なお、詳しくは受付に募集要項が用意してありますのでご覧ください。又は、事務局へ直接お問い合わせください。

友の会へのお誘い

集団では友の会会員を募集しています。定期演奏会を始めとする集団の催しのご案内の他、定期演奏会チケットを予約割引販売する特典があります。詳しくはチラシをご覧ください。

次回、第二十四回定期演奏会(五月二十九日)のチケットが受付にございますので、ご希望の方はお申し出下さい。

日本音楽集団事務局

〒一五〇 東京都渋谷区神宮前六一六一一十四 小早川ビル2F

TEL 〇三三四〇九一五三七四

日本音楽集団のレコード

レコード・タイトル	収録曲名	作曲者	演奏者	レコード会社名	レコード番号	発売年	定価
現代日本の音楽(3)	古代舞曲による パラフレーズ 尺八三重奏曲	三木 稔 清瀬保二	日本音楽集団 指揮：横山千秋	日本コロムビア	OS・10052	1969	2,000 (yen) 売切れ
日本音楽集団による 三木 稔の音楽	序の曲、天如 はばたきの歌 くるだんど等10曲	三木 稔	日本音楽集団 指揮：秋山和慶 独奏：野坂、横山他	日本コロムビア (全曲スコア付) (1970年度芸術祭大賞受賞)	JX・21~4	1970	7,200 売切れ
響/和楽器による 現代日本の音楽	組曲「人形風土記」 しがらみ第2他	長沢勝俊 八村義夫	日本音楽集団 指揮：田村拓男 他	RCAビクター	JRZ・2505~8	1970	8,000 売切れ
日本美の響き/和楽器 による日本旋律集	木曾節 他 14曲	編曲：長沢勝俊	日本音楽集団 指揮：田村拓男	日本コロムビア	YS・10097	1971	1,900 売切れ
日本音楽集団による 日本の民謡	小諸馬子唄 他 14曲	編曲：小川寛典 若松正司	日本音楽集団 指揮：田村拓男	キング	SKK・673	1971	1,500 売切れ
日本の楽器	日本の各楽器の代表的 古典曲・現代曲の 一部又は全部を収録	監修：長沢：三木 解説：長広比登志 霧島素子	日本音楽集団 他 ナレーション： 立川澄登	RCAビクター	JRZ・2520~1	1972	4,400
人形風土記/ 子供のための組曲	組曲「人形風土記」 子供のための組曲	長沢勝俊	日本音楽集団 指揮：田村：横山	RCAビクター	JRZ・2523	1972	2,200
日本の楽器入門	第一面・箏のなかま 第二面・尺八 〃 第三面・三味線 〃 第四面・太鼓 〃	監修・解説： 三木 稔 台詞：秋浜悟史 話し：伊藤惣一	作・構成・演奏： 野坂・宮田・杉浦 清水・川崎祥悦 日本音楽集団	日本コロムビア	ELS・3342~3	1972	3,000
古典⇄現代 日本音楽集団の世界	第一面・古典8曲 第二面凸	三木 稔	日本音楽集団 指揮：田村拓男	日本コロムビア	OS・10127	1972	2,000
佐保の曲・竜田の曲/ 野坂恵子 リサイタル	佐保の曲・竜田の曲 六段の調・みだれ 箏譚詩集	三木 稔 八橋檢校 三木 稔	野坂恵子	日本ビクター	VX・109	1972	2,200
日本美の響き/ 日本旋律集 第2集	からたちの花 他	編曲：長沢勝俊 山野狩人	日本音楽集団 指揮：田村拓男	日本コロムビア	YS・10120	1972	1,900 売切れ
阿波の子タヌキ譚	阿波の子タヌキ譚 三つの阿波のわらべ 子供の四季 歌	三木 稔 三木 稔 長沢勝俊	日本音楽集団 徳島少年少女合唱団 指揮：田村拓男	日本コロムビア	YS・10141	1973	2,000
日本美の響き/ 日本旋律集 第3集	わらべ歌・童謡 を中心に	編曲：長沢勝俊 若松正司	日本音楽集団 指揮：田村拓男	日本コロムビア	YS・10151	1973	1,900 売切れ
日本の響き これぞPCM録音	阿波踊り他 12曲	編曲：安達元彦 長沢勝俊	日本音楽集団	日本コロムビア	NCB・8013	1973	2,200
箏の演奏法(初級編)		編纂：茅原芳男	野坂恵子 他	日本ビクター	SJL・2115	1973	2,000
尺八の演奏法		編纂：宮田耕八朗	宮田耕八朗	日本ビクター	SJL・62	1973	2,200
箏と尺八		編曲：長沢勝俊	宮田、宮本、野坂	日本ビクター	SJL・77	1974	2,200
野坂恵子古典箏曲集 第一集	千鳥の曲、八段 砧・四季の眺	古 典	野坂恵子 客演：米川文勝之	日本コロムビア	CLS・5168	1974	2,000
野坂恵子古典箏曲集 第二集	八重衣 五段砧、四季の曲	古 典	野坂恵子 客演：藤井久仁江他	日本コロムビア	CLS・5169	1974	2,000
邦楽器のための シャコンヌ	シャコンヌ 鶴の巣籠り 春の曲、春の宴	安達元彦 尺八本曲 古典、鶴田錦史	日本音楽集団 指揮：田村拓男 独奏：宮田、半田他	オーディオ ユニオン	Au-5001-R	1974	3,000
三木稔外品集 I	古代舞曲による パラフレーズ 凸	三木 稔	日本音楽集団 指揮：秋山和慶 田村拓男	日本コロムビア	GZ-7003	1975	2,000
三木稔作品集 II	ソネット・箏譚詩集 四群のための形象	三木 稔	日本音楽集団 独奏：野坂恵子	日本コロムビア	GZ-7004	1975	2,000
三木稔外品集 III	序の曲・雅びのうた 天如・孤響	三木 稔	東京ソリスト 指揮：秋山和慶 独奏：横山、宮田 野坂、坂井、宮本	日本コロムビア	GZ-7005	1975	2,000
長沢勝俊外品集	二つの舞曲 箏二重奏曲 詩曲・萌春	長沢勝俊	日本音楽集団 指揮：田村拓男 独奏：宮田 他	RCAビクター	JRZ・2558	1975	

※レコード店で上記レコードが入手困難なとき、日本音楽集団事務所に、お問い合わせ下さい。売切れ品は、ご希望の方には貸出しをいたします。

邦楽器による現代音楽の美を追求する

現代邦楽ライブラリー



- ① 三木 稔 〔四群のための形象〕1・文様/2・居機/3・曲/4・擣——500円
- ② 三木 稔 〔箏 譚詩集〕——300円
- ③ 諸井 誠 〔対話五題〕二本の尺八のための——300円
- ④ 助川敏弥 邦楽器のための〔形象〕——300円
- ⑤ 間宮芳生 〔四面の箏のための音楽〕
〔三面の箏のための音楽〕——650円
- ⑥ 小山清茂 和楽器のための〔四重奏曲第2番〕
和楽器のための〔三重奏曲〕——500円
- ⑦ 長沢勝俊 尺八・箏による〔萌春〕——400円
- ⑧ 長沢勝俊 〔箏四重奏曲〕——400円
- ⑨ 清瀬保二 〔尺八三重奏曲〕——400円
- ⑩ 湯山 昭 〔三面の箏によるカプリース〕——500円
- ⑪ 三木 稔 独奏尺八のための〔孤響〕
三本の尺八のための〔ソネット〕——300円
- ⑫ 間宮芳生 〔尺八のためのプレリュード第1番〕
〔尺八のためのプレリュード第2番〕——400円
- ⑬ 山本邦山 尺八作品集——1000円
- ⑭ 佐藤敏直 〔ディヴェルティメント〕——850円
- ⑮ 石桁直礼生 〔箏のための組曲〕——850円
- ⑯ 三木 稔 二十絃箏のための三つの作品
〔天如〕/〔佐保の曲〕/〔竜田の曲〕——800円

五線譜による

尺八民謡曲集

山本邦山——編

菊倍判/64頁/850円

今まで尺八が民謡で果たしてきた役割は、歌の補助として曲の効果を上げる伴奏としてでしたが、尺八の効果をいかに発揮する山本邦山の華麗な編曲により、尺八の曲として民謡をお楽しみいただけるようになりました。秋田おぼこ/刈干切唄/木曾節/こきりこ節/佐渡おけさ/さんさ時雨/小諸馬子唄/南部牛追唄/花笠踊り/最上川船唄/八木節/他全30曲収録。

五線譜による

尺八教則本

山本邦山——著

全音判/136頁/1000円

現代の邦楽界において、五線譜は欠くことのできないものになってきました。独奏に重奏に広く使われる五線譜によって尺八を練習するのが、妥当ではないかと思われる。新しく尺八に入門される方はもちろん、これから五線譜をマスターされる方にも広くご利用いただけるように十分に配慮され、また尺八の歴史、性能にまで言及した懇切丁寧な教則本となっています。日本古謡、民謡から現代曲まで非常に豊富な応用曲によって、尺八の練習をより豊かで楽しいものになっています。

なおこの教則本のレコードが、CBSソニーから発売されていますので、併用されるとさらに効果的です。



株式会社 全音楽譜出版社

東京都新宿区東五軒町25 ☎269-0121